

幸不幸は陰陽の如く交互にやって来る。不幸故に試練が現れるが、それを乗り越えれば、たとえ大変であったとしても振り返った時にそれが人生と言うスープの深い薬味の一部だったということに気づかされる。苦はわさびやコーヒーのように苦いが、人生の味を引き立たせてくれる。もしスープが不味かった時は「面白い味になった」といってみよう。その時奇跡が起きて、また新たな発見ができるだろう。上から下を見れば愚痴が出るが、下から上を見れば、そのスープを味わえるだけ生きてこれたと感謝ができて楽しくなる。心から感謝すれば福は木の葉の如く自然と舞い込んで来ることだろう。

平成31年2月3日

横田 寿百合